

み・く・い・え

(一財)鳥取県労福協 第293号

題字 柴山抱海書



11月5日(土)鳥取市民体育館で第12回労福協まつりを開催しました。
当時は天気も良く親子や家族で賑わいました。

第12回 東部労福協まつり



第293号 もくじ

新年ご挨拶	2
『THE社会人』&『働きはじめるあなたへ』完成!!	4
囲碁・将棋大会開催のご案内	4
ろうきんからのお知らせ	5
西部労福協研究集会報告	6
鳥取県労福協第1回全県研修会	6
中部地震支援	7
第5回LSC実務者・相談員研修会	7
鳥取県の最低賃金	7
全労済から「ふれあいコンサート」のお知らせ	8



12月3日(土)米子産業体育館で第13回労福協まつりを開催しました。
車イス体験コーナーもあり、車イスでの移動の大変さなど実感しました。



第13回 西部労福協まつり

新年ご挨拶



一般財団法人鳥取県労働者福祉協議会

理事長 安長 章

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

皆様のご理解とご協力によって、昨年の労福協活動が実施できましたこと、感謝申し上げます。

昨年10月21日発生の鳥取県中部地震で被災されました皆様に対しましてお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興を心から願っております。

今、日本の経済は緩やかに上昇していると言われていますが、アベノミクスの影響はどれほどあるのか。少なくとも鳥取県における中小企業は非常に厳しい状況にあり、景気の上向きは実感できないのではないのでしょうか。

1970年代から90年頃までは「一億総中流社会」と呼ばれ国民の所得・生活水準に大きな格差がないことを指していましたが、現在の日本社会は労働における規制緩和や社会保障を後退させ、人ととの繋がりを疎遠にする政策が推し進められ、90年から日本の経済規模はほとんど変わっていないにもかかわらず、富の分配が歪み、格差や貧困が拡大し勤労者や高齢者の生活不安・将来不安が払拭できない状況が続いている。近年よく言われる「今だけ、金だけ、自分だけ」の三だけ主義の風潮に対し、私たちは働くことの価値観を再認識し、みんなが働き、支え合う、希望と安心の社会を創らなければなりません。

今こそ、労福協の理念である「連帯・共同でつくる安心・共生の福祉社会の実現」に向けて、労福協・労働団体・自主福祉事業団体の連携強化のもと、共助の大切さを再確認して職場・地域に根ざした運動を展開していくなければなりません。皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。この新しい年が皆様にとりましてより佳き年になりますよう祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。



日本労働組合総連合会鳥取県連合会

会長 本川 博孝

新年あけましておめでとうございます。

ご家族お揃いで、健やかな新春をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

旧年中は、連合鳥取の運動に対しまして、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

日本の経済は、バブル経済崩壊後の「失われた20年」から抜け出せないまま、低成長時代へと突入し、企業はグローバル競争にさらされ積極的な投資を控え、コスト削減を常態化し、人件費の抑制によって社会全体で賃金のデフレが進行しています。

さらに、超少子高齢化・人口減少が進み、労働力人口の減少、非正規雇用の増大など労働環境の変化が社会のあらゆる分野に格差をもたらし、将来への雇用や生活に対する希望が失われかけています。

今必要なことは、労働者・生活者の視点での経済の成

長であり、誰もが安心して働き続けられる労働環境を整える事です。

それぞれの持ち場・立場での取り組みに全力を挙げ、社会の不条理に立ち向かい、すべての働く者・生活者の希望と安心を取り戻し、「働くことを軸とする安心社会」の実現をめざし、総がかりで行動しなければなりません。皆さんとともに取り組みを進めていきます。

2017年が、素晴らしい年になることをお祈りし、新年のごあいさつといたします。



中国労働金庫鳥取県営業本部

本部長 小椋 昌美

新年明けましておめでとうございます。

2017年の新年をご家族とともに健やかに迎えられたことと思います。

日頃より労金運動にご理解・ご協力をいただいておりますことに厚くお礼申しあげます。

昨年10月に発生しました鳥取県中部地震で被災されましたみなさまにお見舞いを申しあげますとともに、一日も早く復旧・復興されますことを心より願っております。

さて、勤労者を取り巻く環境は、昨年に引き続き今年も景気の先行き不安や社会保障への将来不安など、明るい兆しが見えてこない状況が続くことが予想されます。

〈ろうきん〉は役職員一丸となり、福祉金融機関として関連する福祉事業団体と協働して勤労者の経済的地位の向上に向けた貢献を果たして参ります。引き続きのご愛顧をいただきますようお願い申しあげます。

本年が、みなさまにとってより良い年でありますようご祈念申しあげ、新年のご挨拶といたします。



全労済鳥取県本部

本部長 五十嵐美知義

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、全労済運動へのご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。また、昨年の鳥取県中部地震において被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。

私たちが生活していくうえで、こうした自然災害も含め、自分や、家族の病気・けが、交通事故などあらゆるリスクが存在します。こうしたリスクを背負ったとき、総合扶助の共済によって組合員の生活再建をお手伝いする使命があると深く感じております。

本年は、「鳥取共済創立60周年」の年であります。この節目の年に改めて共済の原点に立ち返り「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」のため、役職員一丸となり邁進してまいります。引き続きのご支援・ご協力をお願い申しあげます。

2017年が皆さまにとって、素晴らしい年になることをお祈りし、新年のごあいさつといたします。



鳥取県生活協同組合

理事長 浜江 隆二

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は、幣組の事業や活動にご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

暮らしを取巻く環境は、日増しに厳しさを増し先行き不透明な状況が続いています。また、平和と憲法・社会保障・食と農の問題など、私達の暮らしに直結する様々な問題が十分な国民的理解を得られないまま矢継ぎ早に取り沙汰されており、将来にむけた不安が地域の中で一層広がってきてているのが実相ではないでしょうか。

このような中、本年においても平和と暮らしを守る活動を大切に取組んでまいる所存です。そして、諸団体の皆様と連携を強め、協同組合の価値・仕組みの有効性を一層發揮できるよう務めてまいりたいと存じますので、引き続きご支援ご協力を宜しくお願い致します。

年頭にあたり、皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。



鳥取医療生活協同組合

組合長理事 守山 泰生

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年は当組合の創立65周年の記念の年でした。地域社会では少子化・高齢化が進行し、すべての世代で貧困が拡大し、生存権・健康権が脅かされています。本来「長生きであること」は素晴らしいことであり、健康寿命の伸長が望まれるところです。少子化と高齢化はその意味も対策も異なります。少子化は民族の将来に関わることであり、若者の雇用・教育・医療環境の整備と抜本改善が必要不可欠です。

今年は、世界的にも激動の情勢が予想されます。国内では、いのちや暮らし、社会保障、TPP、原発再稼働などと共に「日本のあり方」も鋭く問われます。地域社会が大きく変化する中で、私たちは協同組合の理念・仕組みを活かし、高齢者と若者が共に輝く社会めざして運動と事業を推進する決意です。

皆様にとりまして、よき年になるよう祈念し、新年のご挨拶といたします。



鳥取県労働者福祉協議会東部支部

支部長 大竹 成美

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は労福協東部支部の活動に格別のご理解、ご支援、ご協力を賜り心より厚く御礼申し上げます。

県労福協、東部支部では現在働いていらっしゃる方は労働金庫、全労済を利用していただき可処分所得の向上、これから社会へ出て働く方には重要な問題として奨学金問題を取り組んでおり、本来夢や希望にあふれた新社会人の生活が奨学金という名の借金を背負い将来の希望が見いだせないというような事がないよう行政に要請する行動を行っています。その他労福協まつり、スポーツの祭典、児童書初め展、勤労者美術展等の活動も例年通り執り行っていますので本年も昨年と同様にご理解、ご支援、ご協力をいただきますようにお願いするとともに皆様方ならびにご家族のご健康ご多幸を祈念して年頭のあいさつとさせていただきます。



鳥取県労働者福祉協議会中部支部

支部長 平信 憲一

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は格別なご高配を賜り有り難く厚くお礼申しあげます。昨年10月21日に発生した、鳥取県中部地震での被災に際しまして、皆様にお見舞い申し上げると共に、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。また新年を迎える皆様とご家族のご健勝と、今年一年が明るい話題にあふれた年になるよう、心よりお祈り申し上げます。

2016年を振り返ってみると、先行き不透明感が強い年ではなかったでしょうか。

政府が打ち出した成長戦略によって、国内はデフレ経済から脱却を図りつつあるように見られているものの、我々労働者の購買意欲が高まったとは感じられないのではないかでしょうか。デフレ経済のもとで、格差社会の拡大に伴う低所得者層の増大、失業率の高止まり、雇用不安などの厳しさが一段と増しています。そんな日本経済において、個人の力では出来る事に限りがあるかもしれません。だからこそ、われわれ組合員同士、絆を持ち、より一層強い組織作りが出来るように取り組んでまいりたいと思います。

皆様のご協力を改めてお願い申し上げ、簡単ではありますが、新年のご挨拶とさせていただきます。



鳥取県労働者福祉協議会西部支部

支部長 藤本 敏秀

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、労福協西部支部の活動にご理解とご協力をいただき、心よりお礼を申し上げます。昨年度も貧富の差は拡大し、奨学金の問題も大きくとりあげられました。このような社会状況の中で労福協のような結束した労働運動がますます必要になってくるように思います。

本年も昨年同様、各種活動に積極的なご参加のお願いを申し上げ、年頭に当たり皆様のご健勝とご多幸を祈念し、新年のあいさつといたします。



鳥取県中小企業労働相談所「みなくる」

管理運営マネージャー 中西 紀夫

新年あけましておめでとうございます。

日ごろ鳥取県中小企業労働相談所「みなくる」の事業にご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

2016年の労働相談の件数は約3600件と依然多い状況が続き、サービス残業や解雇・退職勧奨など労働条件に関する相談は減らず、いじめ嫌がらせなどの職場の人間関係の相談も徐々に増えています。

本年は、働きやすい職場づくりのために関係機関と連携し、相談員がさらに努力してまいります。職場でおかしいなと思われたら、どんな小さなことでもいいので、お早めにご相談ください。

また、社内研修への講師派遣や労務管理のアドバイスにつきましても、本年もご活用いただき、気持ちよく働ける職場をめざしましょう。

労働ハンドブック2016年度版

『THE 社会人』 & 『働きはじめるあなたへ』 完成!!

今年も労働ハンドブック『THE社会人』(A5版68ページ)と『働きはじめるあなたへ』(A6版42ページ)を各12,000部作成しました。働く人の権利と義務をわかりやすく、フルカラーのイラスト入りで表現しています。

今回は、昨年作成した内容をさらに充実しております。

『働きはじめるあなたへ』は、鳥取県内高校と特別支援学校を卒業される生徒全員に配布され、労働トラブルの未然防止や早期離職防止に役立てていただきます。

**「THE 社会人」 A5版68ページ
2016年11月発行**

自分の目標などが記入できるので、キャリア教育に便利！

将来の目標記入ページ

パワハラのページ

**『働きはじめるあなたへ』 A6版42ページ
2016年10月発行**

時間外労働のルールや割増賃金のページ

サービス残業は違法です

時間外手当の図や計算式があり理解しやすい！

パワハラの行為類型がイラスト入りでイメージしやすい！

冊子をご希望の方は、下記の鳥取県労福協までご連絡ください。さらに、冊子を活用した研修会や授業の依頼にも対応しておりますので、お気軽にご相談ください。

問合せ先

(一財) 鳥取県労働者福祉協議会 〒680-0847鳥取市天神町30-5
電話 (0857) 27-4188 · FAX (0857) 24-8149

鳥取県労福協 第27回囲碁将棋大会のご案内

開催日時

2017年2月5日(日) 受付10時 開会10時20分

開催場所

「まなびタウンとうはく」 東伯郡琴浦町徳万266-5 (浦安駅東隣) 電話0858-52-1111

参加費

無 料

参加資格

県内勤労者の団体(労働組合・企業単位及び事業団体等)で、原則としてアマチュアであること。OBの参加も可能。

お問い合わせ

鳥取県労働者福祉協議会 電話0857-27-4188

「鳥取県中部地震被災地域に寄付を行いました」

去る10月21日に発生した鳥取県中部地震により、倉吉市をはじめ周辺地域は大きな被害を受け、被災家屋1万戸超、今も避難所暮らしを余儀なくされている被災者の方々がおられます。



中国労働金庫では11月17日、被災者の一日も早い生活安定と災害からの復旧を願い、災害救助法が適用された被災地域の自治体に寄付を行いました。

倉吉市、三朝町、湯梨浜町、北栄町



この日、小椋鳥取県本部長と猪原倉吉支店長が4カ所の被災自治体を訪問し、倉吉市役所では、今も防災服に身を包んだ石田市長に小椋県本部長より寄付目録が贈呈されました。石田市長は、心からの感謝の言葉とともに地震発生後3週間が過ぎた先

日、ようやく自宅に戻り、我家の片付けを行ったと話されていました。まだまだ余震に気の抜けない日々ではありますが、徐々に平常生活に戻りつつある県中部地域でした。

来店不要!

フリーローン
Web完結型
(ペーパーレス)
スタート

**ここが
ポイント!**

2016年12月1日より、〈中国ろうきん〉普通預金口座をお持ちの方は、**来店不要**で契約ができる**フリーローンWeb完結型(ペーパーレス)**をご利用いただけるようになりました。

※普通預金口座をお持ちでない方も、あらかじめ店頭等にて、普通預金口座のご契約いただくことで、ご利用いただけます。

**〈ろうきん〉
フリーローンで
あなたの夢を応援**

1 **24時間365日**
お申込み可能!

2 **Webでお申込み**
手続き完了!

3 **収入印紙などの
諸費用無料!**

4 **必要書類は、
本人確認資料のみ!**

くわしくは、**中国ろうきん**ホームページをご覧ください！

※審査の結果、ご融資できないなど、ご希望に添えない場合がございますので、あらかじめご了承ください。※店頭に説明書をご用意しています。
※ご返済額について試算をご希望の方は、〈中国ろうきん〉のホームページをご利用いただくか、店頭にお申し出ください。
※繰上げ返済をされる場合、手数料はいたしません。

●くわしいお問い合わせ・ご相談は中国労働金庫各支店へお気軽にご連絡ください。

R
生活応援バンク
ろうきん
(2016年12月1日現在)

中国労働金庫鳥取支店 TEL (0857) 23-1241 ローンセンター鳥取 0120-25-3655
倉吉支店 TEL (0858) 23-2441 ローンセンター米子 0120-35-6475
米子支店 TEL (0859) 22-1200

中国ろうきんコールセンター 0120-86-3760

中国ろうきん

検索

中国ろうきん ホームページ <http://www.chugoku.rokin.or.jp/>

2016年度西部労福協 35回研究集会報告 ～ テーマ「安心・共生社会の実現に向けて」～

11月10日(木)・11月11日(金)の2日間、徳島市において開催され、鳥取県から安長理事長他、5名が参加しました。

中央労福協参与の山本幸司さんから「職域・地域で労働者自主福祉運動の前進に向けて」と題して、日本社会が①人口動態 ②雇用・就労形態、③家族機能の変化と低下、④政府のガバナビリティーの低下、という4つの社会的主体が揺らぐ方向へ進んでいる実態から、あらためて地域社会の再生へ向けて公助の再構築と共に改革・創造が不可欠であるとの講演でした。

「奨学金問題対策全国会議」の共同代表でもある中京大学の大内裕和教授からは、日本の奨学金制度の現状・課題と奨学金返還の実態から湧き出る問題についての講演でした。これからの日本社会を背負っていく若者たちのためにも、制度の改善や国の「給付型奨学金制度」創設に向け、労福協と連携して取り組みを進めるとの決意も述べられた。

最後に、中央労福協北村事務局次長より「奨学金制度の改善に向けて～第3ステージに取り組み」について報告し、研究集会は終了しました。



鳥取県労福協2016年度第1回全県研修会の開催

11月19日(土)に全労済5階ホールで80名の参加をいただき開催しました。安長理事長の開会挨拶の後、(株)ワールドウイングエンタープライズ代表の小山裕史さんより「初動負荷理論」と、そのトレーニングの実践で脳機能障害、身体のまひ、怪我・故障などにおいて著しい改善が見られたことを映像とデータで説明いただきました。また、イチロー選手が取り組む「初動負荷カムマントレーニング」は、脳→神経→筋肉の関連性のもと、動作開始前に筋肉をリラックスさせて緩んだ筋肉を継続させるために適切な負荷運動の反復を行うことで、先行活動の活性化を促しつつ高い酸素摂



取で筋肉の緊張状態を無くすこととなり、今世界で注目されているとの報告もありました。



次に「生活底上げに向けての家計見直し提案」をテーマに、中国労働金庫の福島敬さんからは「賢いローンの使い方」について、全労済より深田真市さんからは「自然災害での家財保障」についてお話をいただき、研修会は終了しました。

鳥取県中部地震 復興を願って 義援金を贈呈しました

10月21日に起きた地震により被災されましたみなさまに心よりお見舞い申しあげます。



11月15日（火）倉吉市へ贈呈

（写真左より）

矢吹総務部長・石田市長と

安長理事長・小谷中部支部事務局長



11月24日（木）鳥取県中部町村会へ贈呈

（写真左より）

安長理事長と吉田中部町村会会长（三朝町長）

※西部労福協（中国、四国各県労福協で構成）からも義援金の贈呈がありました。

第5回LSC実務者・相談員研修会(大阪会場)に参加して

開催日：2016年11月1日～2日 場所：大阪キャッスルホテル(大阪市)

大阪で開催されたライフ・サポート・センター(LSC)暮らしのなんでも相談を担当する実務者・相談員の研修会には西日本中心に約30名が参加しました。

中央労福協の花井事務局長の冒頭あいさつで、LSCは各地で多様に実施され、研究者・行政から高い評価をうけており、相談員の育成や財源などが課題になっていることが述べされました。

研修の内容は、相続及び相続税について、メンタルヘルスをかかえる相談者への対応、消費者問題・マネートラブルへの対応をはじめ、今回初めて研修項目に組み入れられた認知症予防に関する研修が行われました。

いずれの研修テーマも相談を受ける上で関わりが深く、とても興味深く聞くことができました。特に認知症については全国で現在550万人おり予備軍も450万人いること、加齢にともなって発症率が高くなるが、脳全体の血流を良くするよう声に出して歌いながら手足を動かすなどの体操を行うことで発症を予防したり、遅らせたりできるそうです。鳥取県の琴浦町ではすでに実践を続け6千万円余の効果が出ているようです。

今回の研修で学んだことをLSC相談の対応に活かし、関係者と連携して相談者の支えになるようにさらに努めたいと改めて思いました。



ライフサポートセンターとつとり 中西紀夫

鳥取県の最低賃金

■地域別最低賃金

最低賃金の名称	時間額	発効年月日
鳥取県最低賃金	715円	平成28年10月12日

■特定（産業別）最低賃金

最低賃金の名称	時間額	発効年月日
鳥取県電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業最低賃金	764円	平成28年12月22日
鳥取県各種商品小売業最低賃金	718円	平成28年12月17日

詳しくは、鳥取労働局労働基準部賃金室(0857-29-1705)、又は最寄りの労働基準監督署にお問合せください。

全労済の組合員還元

ふれあいコンサート

全労済鳥取県本部では、組合員還元事業として、ふれあいコンサートを開催します。
親子で楽しんでいただけるコンサートとなっています。全労済組合員であればどなたでも応募いただけます。

応募方法をご覧の上、お申し込みください。たくさんの皆さまの応募をお待ちしています。

“親子のためのクラシックコンサート”

音楽の絵本

おんがくのえほん



ZORASIAN BRASS



弦うさぎ

金管五重奏のズーラシアンプラスと弦楽四重奏の弦うさぎ…

動物たちが織りなす不思議なクラシックコンサート

「音楽の絵本」の世界へようこそ！



1,800名様
入場料無料でご招待！

応募者多数の場合は
抽選となります

●予定曲目

- ・剣の舞
(作曲: ハチャトリアン)
- ・うさぎメドレー
(編曲: 中川幸太郎)

- ・ディズニー映画「ストーピア」より
トライ・エヴリシング
(曲: 石川亮太)

- ・ロンドンデリーの歌
(アイルランド民謡)
- ・アルプス一万尺
(アメリカ民謡)

- ・静かな湖畔
(スイス民謡／詞曲: 大塚子龍)

- ・オリースの首飾り
(作曲: クロード・モーガン)
- ・ルパン三世のテーマ
(作曲: 大野雄二)ほか

●日時

2017年 4月15日 土

●公演場所 とりぎん文化会館

開場/13:00 開演/13:30 終演/15:00 ※時間は予定です

●入場料 無料 ●募集人数 1,800名
(全席指定)

●応募資格 全労済の組合員とその家族

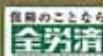
●応募締切 2017年 2月28日 火

●主 催 鳥取県共済生活協同組合

●応募方法 チラシについています申込用紙にご記入の上、所属団体を通じてお申し込みください



お問い合わせ先



鳥取県本部 事業推進部 (鳥取県共済生活協同組合)

T 0880-0846 鳥取市通町14 営業時間 9:00~17:00(土曜・日曜・祝日除く)

0857-22-8234



発行責任者 安長章 編集責任者 田中良憲 編集委員 奥田康寛・澤北和彦・山根美奈・谷口美紀
発行日 2017年1月 発行 鳥取市天神町30番地5 (一財)鳥取県労働者福祉協議会 第293号

TEL (0857) 22-8234
2017-02-28

鳥取県労福協HPへ
(スマホ対応)